

「デジタル変革時代のICTグローバル戦略懇談会」
国際戦略ワーキンググループ（第三回）
2019年2月20日

FUJITSU

shaping tomorrow with you

デジタル時代のグローバルビジネスに向けた 富士通の取り組みについて

富士通株式会社

執行役員常務

テクノロジーソリューション部門 グローバルデリバリーグループ長

時田 隆仁

- 
1. SDGsに対する富士通の考え、貢献
 2. 富士通のグローバルな価値提供モデル
 3. 政府に対する期待

社会にとっての価値を届ける ≡ SDG達成への貢献への一歩



■企業が業界を超えて結びつき、データを活用して革新的な顧客価値を共創するエコシステム(デジタル・アリーナ)を形成



■最適なテクノロジーと業種業務ナレッジをつなぎ、新たな価値を創出

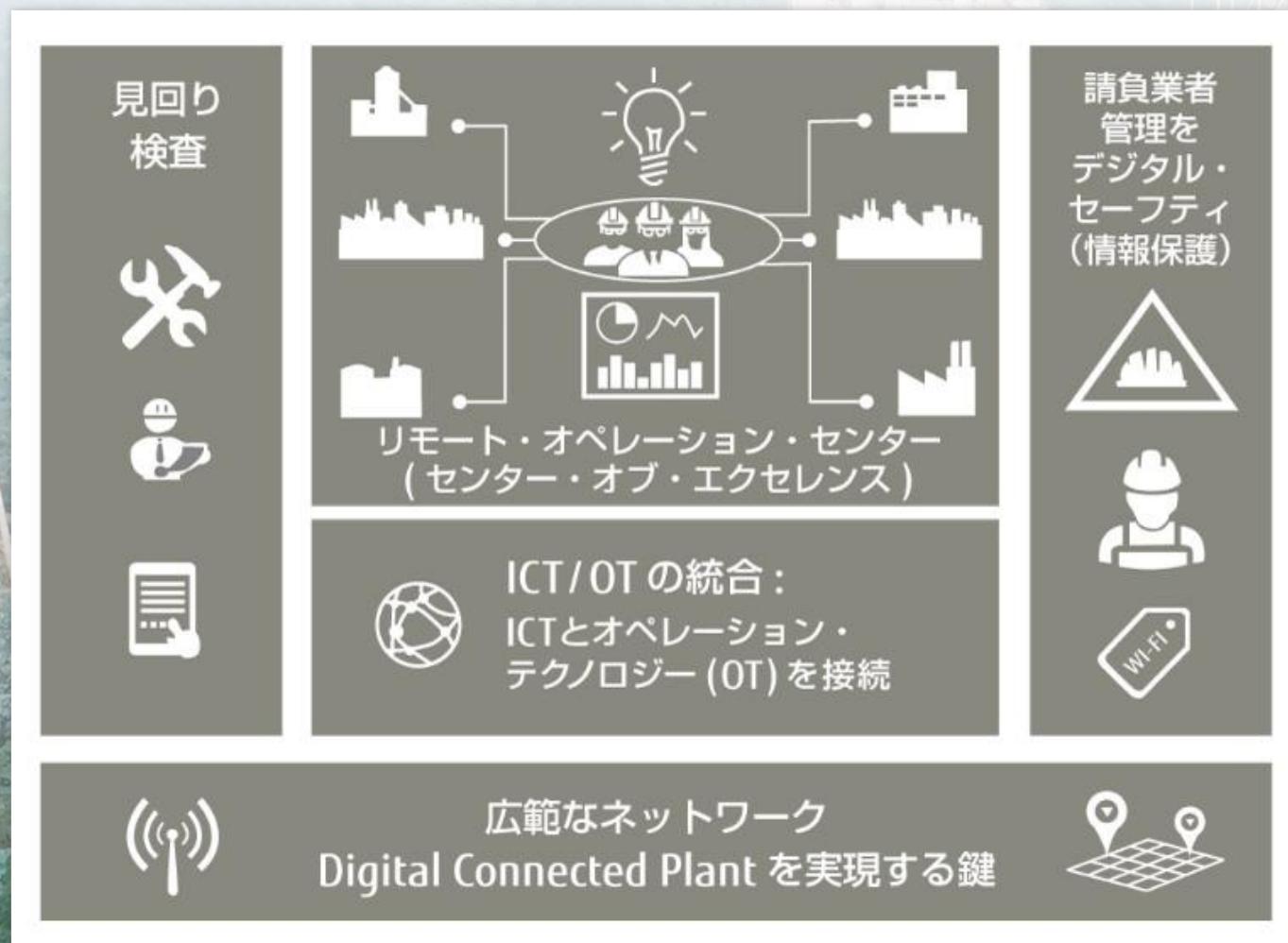


- IoT活用でタイ国内のセメント業界における競争優位性を確立
- セメント工場の行程は複雑で抜本的な効率化が困難



工場のオペレーション向上と最適化

- 機械学習・故障予知・遠隔監視などの最新技術を現場に導入
- 総合設備率改善で2%、保守コスト削減で10%の効果



- 風力タービンの羽根の品質検査に膨大な時間が必要
- 高品質、高セキュリティの最適なソリューションを追及

不良検知に要する時間を短縮

- 自動的に不良を検知する人工知能(AI)ソリューションを共創
- 100%の不良検知率を達成し、検査時間も80%短縮
(32,000時間分の作業量を削減)



マレーシア総合防災情報システム実証



- 被災現場からのリアルタイム情報の収集や情報の一元管理
 - 河川の水位レベルの集中管理と自動の警報発信

1 情報収集



2 データ登録



3 情報提供



● ●
現場スタッフ/
災害対策部門に
よる情報収集



- 地図
- 帳票
- グラフ
など

etc.



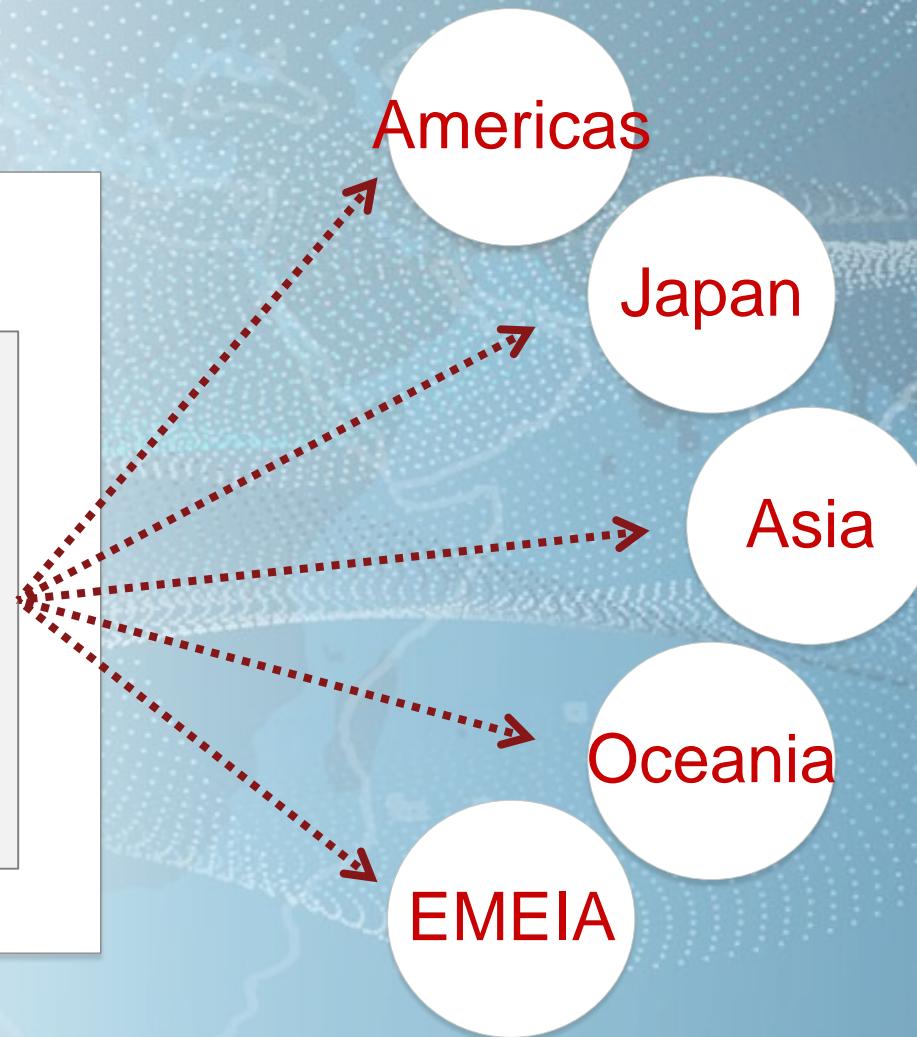
洪水警戒情報



ポータル
Webサイト



■より高度なサービスを支える「Global Hubs」



中国、インド、フィリピン、マレーシア、ポーランド、ポルトガル、ロシア、コスタリカ

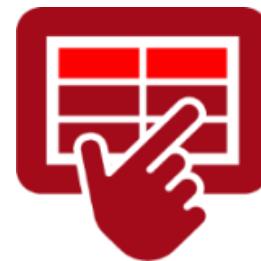
GDCは、マネージドインフラストラクチャおよびビジネスアプリケーションサービスの中心にいますエンド・ツー・エンドのITサービスを提供するのに役立ちます。



多言語
サービス
デスク



サービス
管理



アプリケーション
サービス



遠隔
インフラ
管理



ビジネス
プロセス
アウトソーシング



技術保守サービス



ネットワーク 運営



グローバル
データ
センター管理

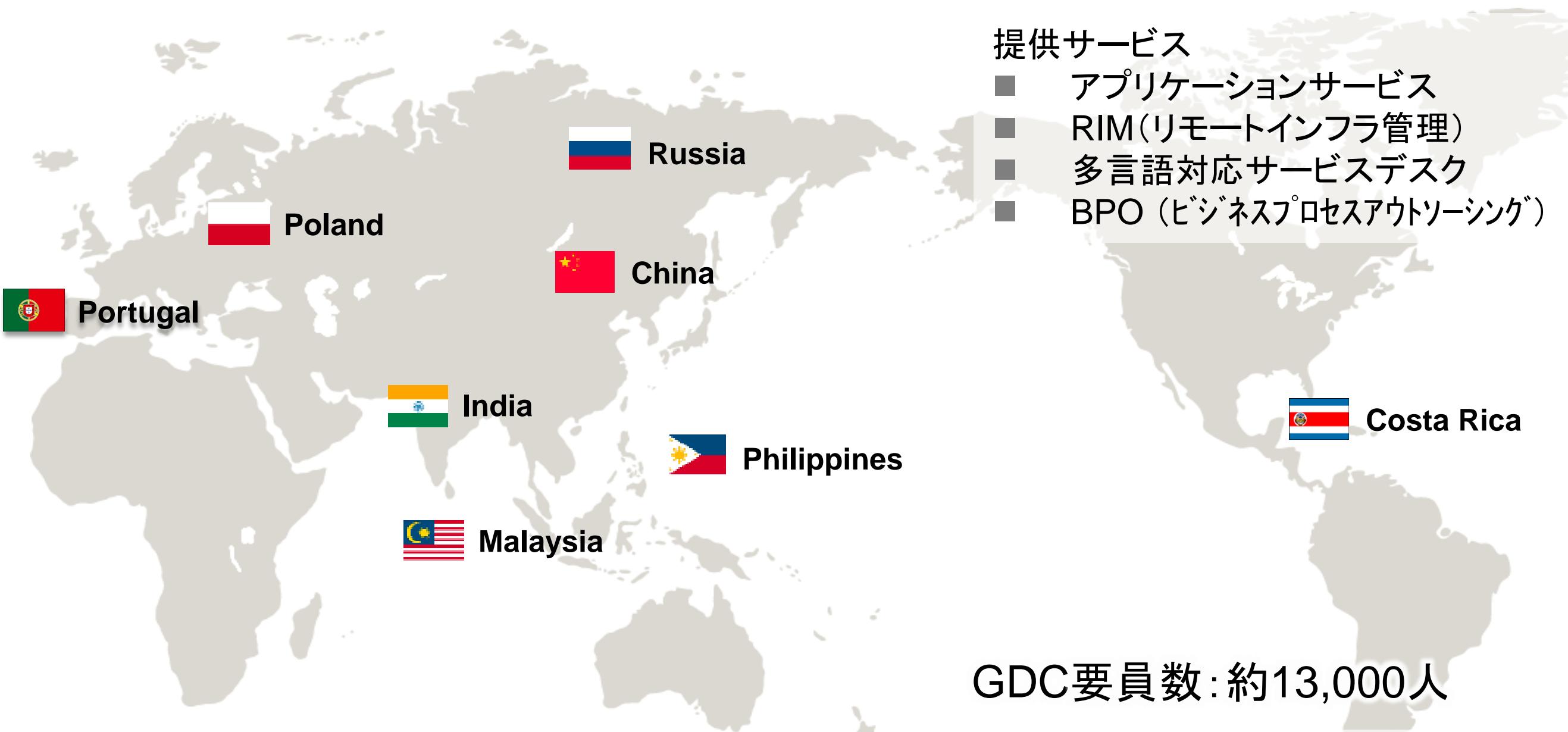


研究開発

2018年12月現在

提供サービス

- アプリケーションサービス
- RIM(リモートインフラ管理)
- 多言語対応サービスデスク
- BPO (ビジネスプロセスアウトソーシング)



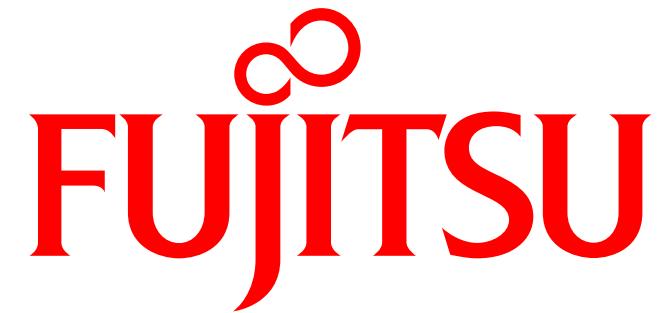
GDC要員数: 約13,000人

世界8拠点のグローバルデリバリーセンター

- サービスデスクは、40ヶ国語以上に対応

デジタル分野の規制におけるグローバルな調和と枠組みの構築

- Society5.0のコンセプトに基づいた、日本と他国による社会課題解決モデルの創出
- オープン、透明、公正、予見可能なルールと国際連携
- 国境を越えた自由な情報流通の確保、データローカリゼーション規制の排除
- デジタル時代における信頼性についての議論
(政府・民間の役割、技術、制度)
- 個人データ保護とイノベーション創出を可能にする、安心してデータを活用できる環境整備



shaping tomorrow with you